

前期を振り返って

津島市立神守中学校長 小林秋良



平成30年度の前期も、残すところ10日ほどとなりました。ここで、各学年が前期を振り返り、成果と課題をまとめました。以下がその内容です。

※ ○=よかった・できるようになったこと ●=後期に向けて頑張ってもらいたいこと
<1学年より>

- ルールやマナーを学び、私語なし清掃等にきちんと取り組めるようになった。
- 廊下ですれ違う時、大きな声で挨拶ができるようになった。
- 指導されたことや注意されたことに対して、素直に受け入れることができている。
- 学習・生活の両面において、さらに積極的に取り組んでほしい。
- まわりの状況を見て、自分で判断して行動できるようになってほしい。

<2学年より>

- 5分前行動等、時間にゆとりをもった行動ができるようになった。
- 学校祭での取り組みに代表されるように、よりよい活動になるように作戦を考えたり、アドバイスをし合ったりと、行事に前向きに取り組むことができた。
- 私語なし清掃に、15分間真剣に取り組むことができた。
- 交差点での一旦停止、自転車の左側走行・右折時の後方確認等、交通ルールを守り、さらに安全に登下校できるようになってほしい。
- 持ち物の整理、駐輪場での自転車の駐車の仕方、清掃道具の片づけ等、自分が使う物の整理整頓をさらに心がけてほしい。

<3学年より>

- 落ち着いた雰囲気の中で授業に臨むことができた。
- 学校祭では、ブロックリーダーを中心に、各活動に一生懸命に取り組むことができた。
- 様々な場面で知恵を絞り、独創性のある意見を出すことができた。
- 教員が指摘したことについて、その都度よく考え、行動に移すことができた。
- 私語なし清掃の時間を利用し、自分の進路も含め、自分に向き合ってもらいたい。
- 指導されるということは、自分のことを真剣に考えてもらっていることである。今後も指導に対して謙虚に受け止める姿勢を持ち続けてほしい。
- 今後も、自分さえよければよいという考えを改め、自分の周りに配慮した言動を更に取り入れるようになってほしい。

この6か月間、生徒は着実に成長しています。特に、学校祭を通して、個の集団へのかかわり方・集団内での個の活かし方については、格段の成長をとげたと感じます。また、学習面では、対話的な学びへの取り組みの意欲・課題に主体的に取り組む姿勢・期限までに提出物を提出しようとする意識の高まり等、確実な歩みを感じます。このような生徒の成長に触発されるように、若い教員集団も少しずつ成長しています。

“学校内に生徒と教員の笑顔があふれ、諸活動において生徒と教員の額に汗が輝き、各活動に応じて凜とした空気が流れる学校”この目指す学校の姿にさらに近づけるように、後期も着実な1歩を踏み出します。